

進みはじめた

ぼくらの時間



進みはじめた

ぼくらの時間

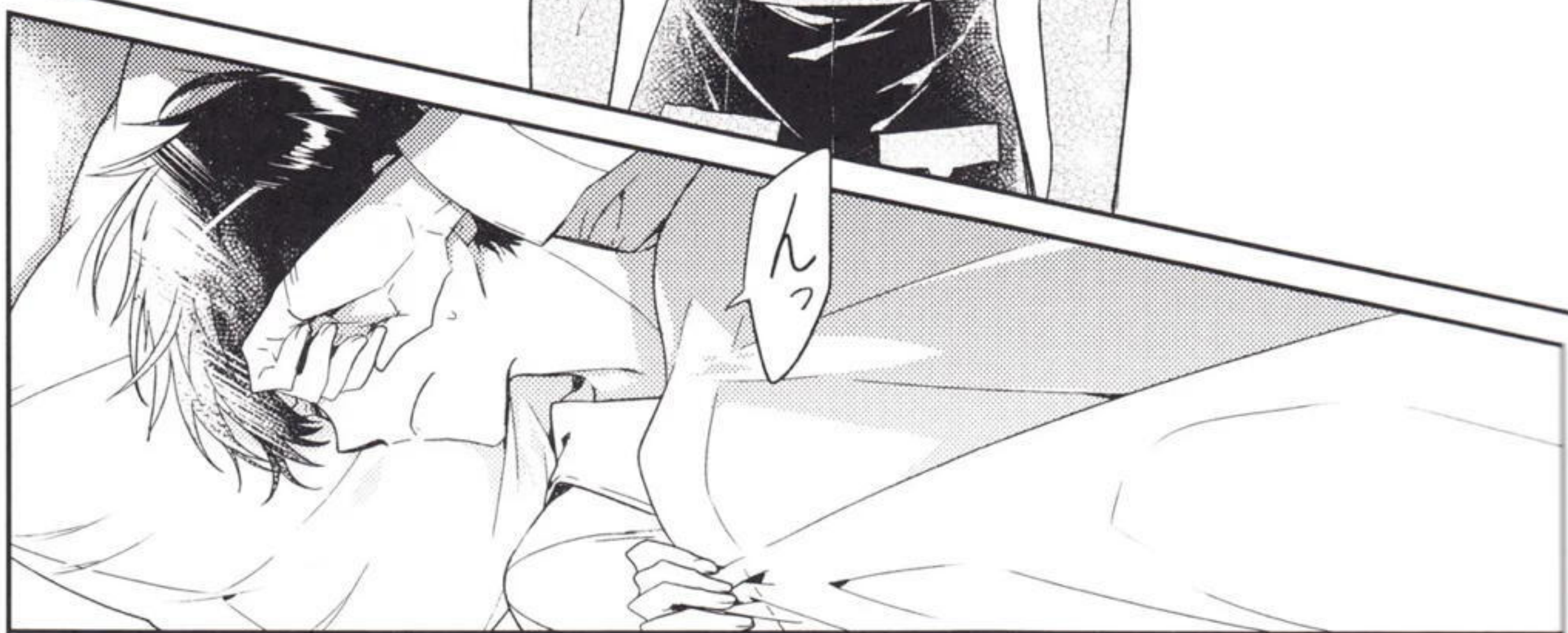
- ・ 新劇Qのネタバレを含みます
- ・ Qを軸にしたパラレル漫画です。
- ・ 解釈などは独自のものを含みますので、公式設定に基づいたものではありません。
- ・ カヲル×シンジの本です。

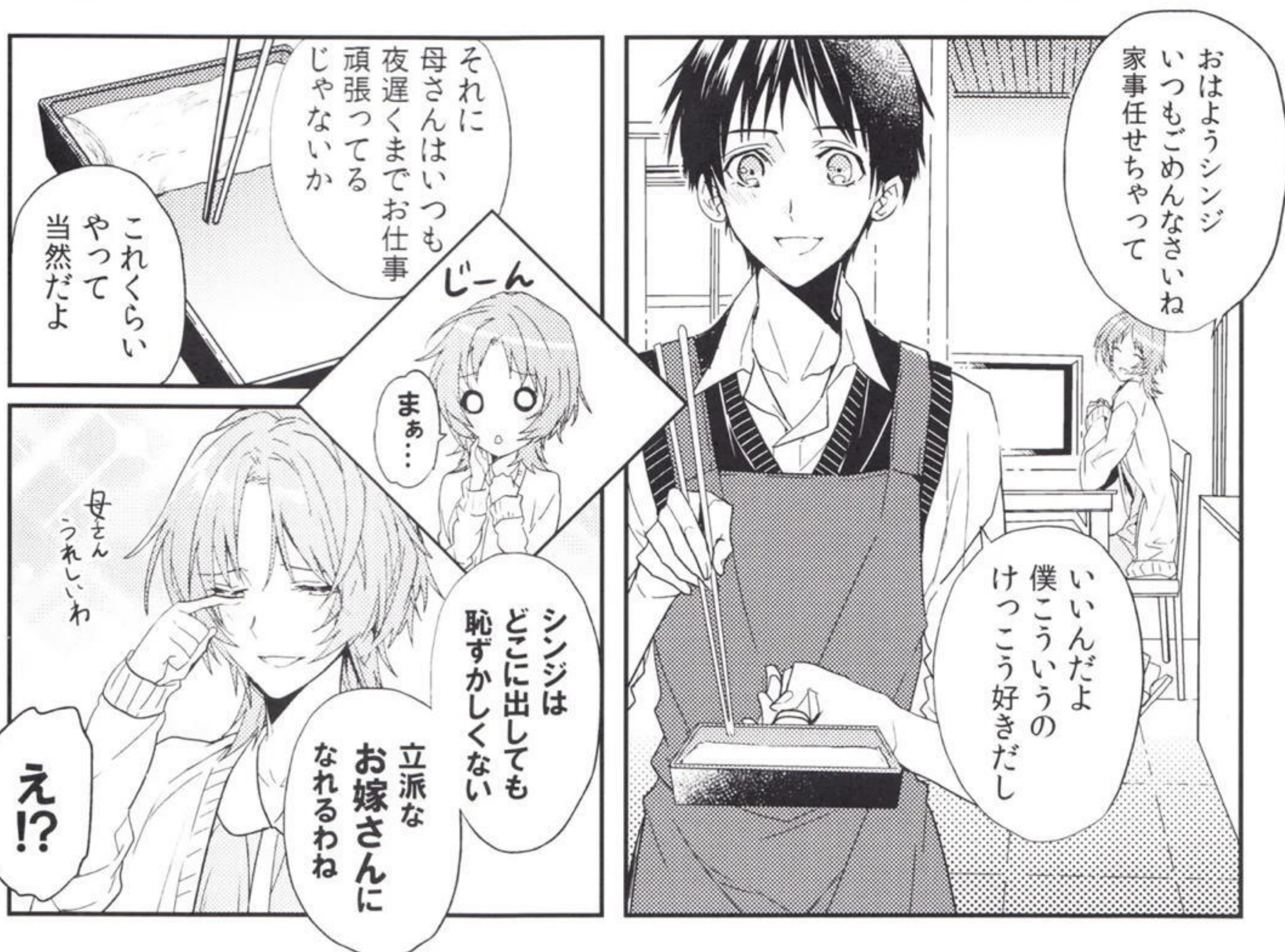
設定

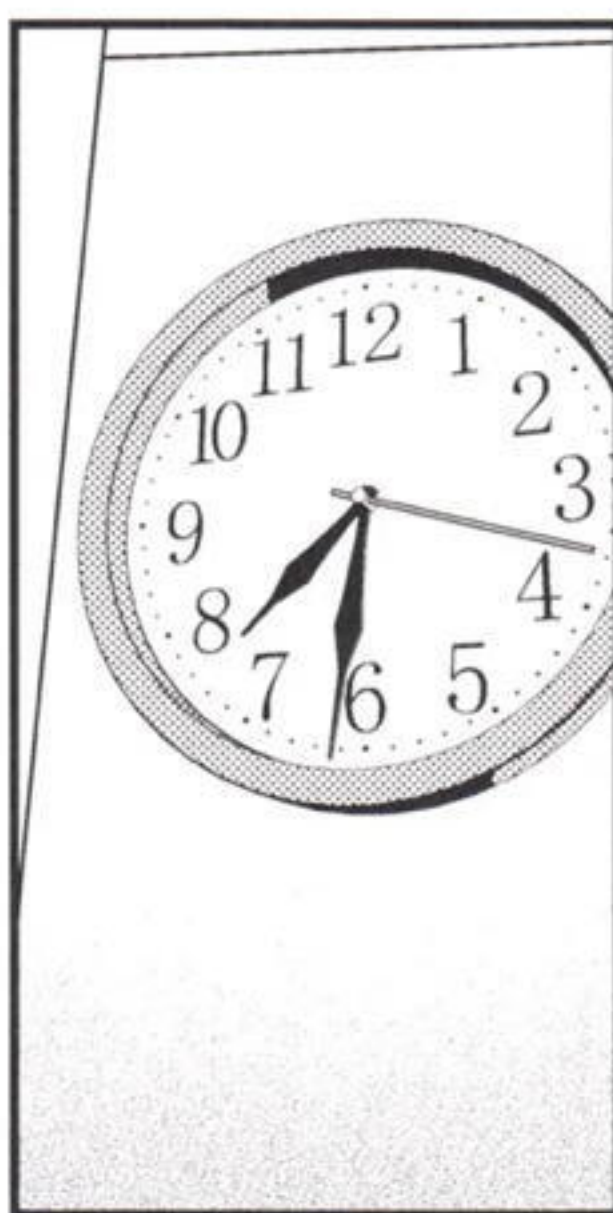
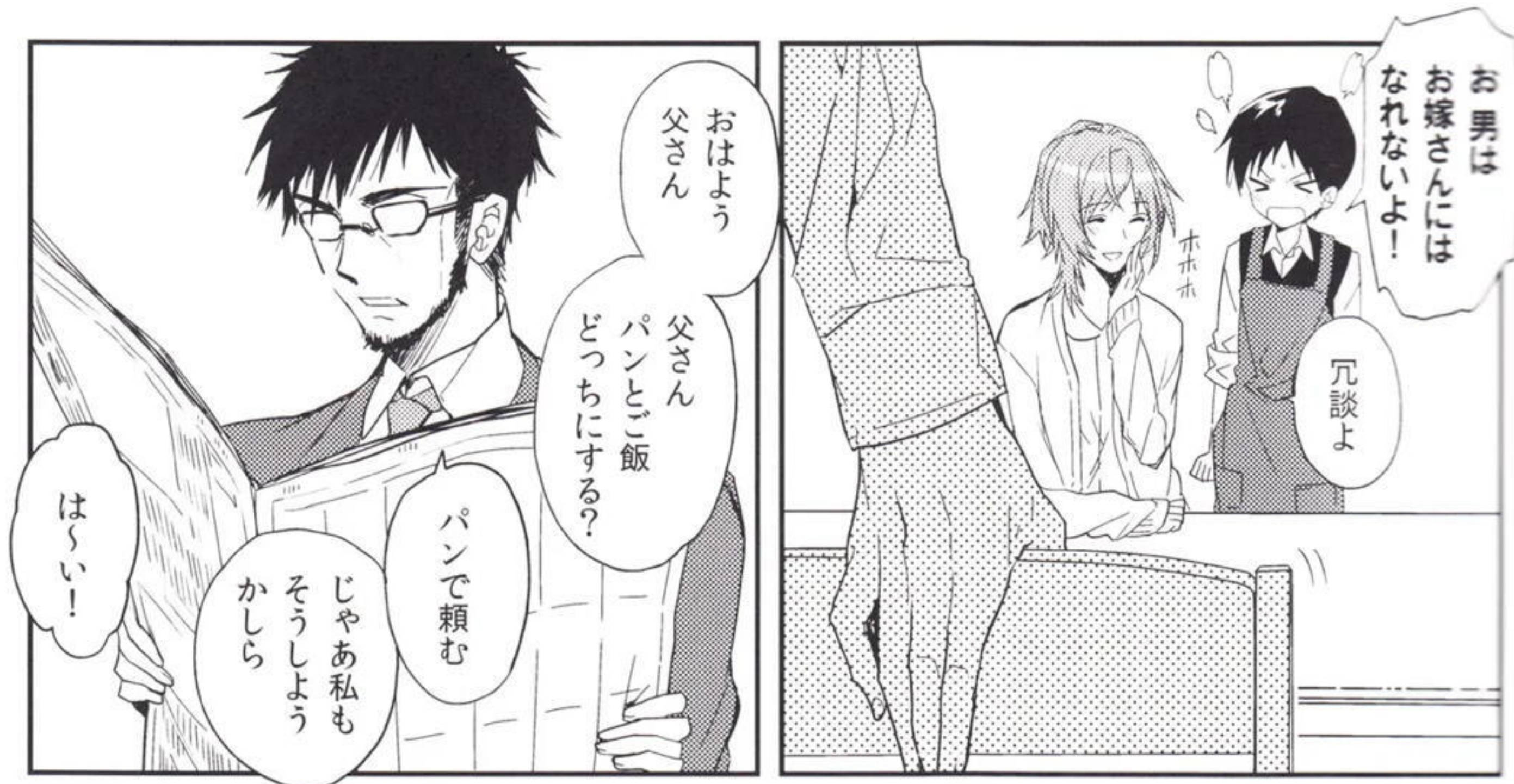
- 新劇Qを軸にしたパラレルワールド
- エヴァや使徒のない平和な世界
- カヲル君は人間として生まれる。
しかし、使徒だった頃の記憶が残っている
- キャラの年齢操作あり

君を幸せにする…
それが 僕の…

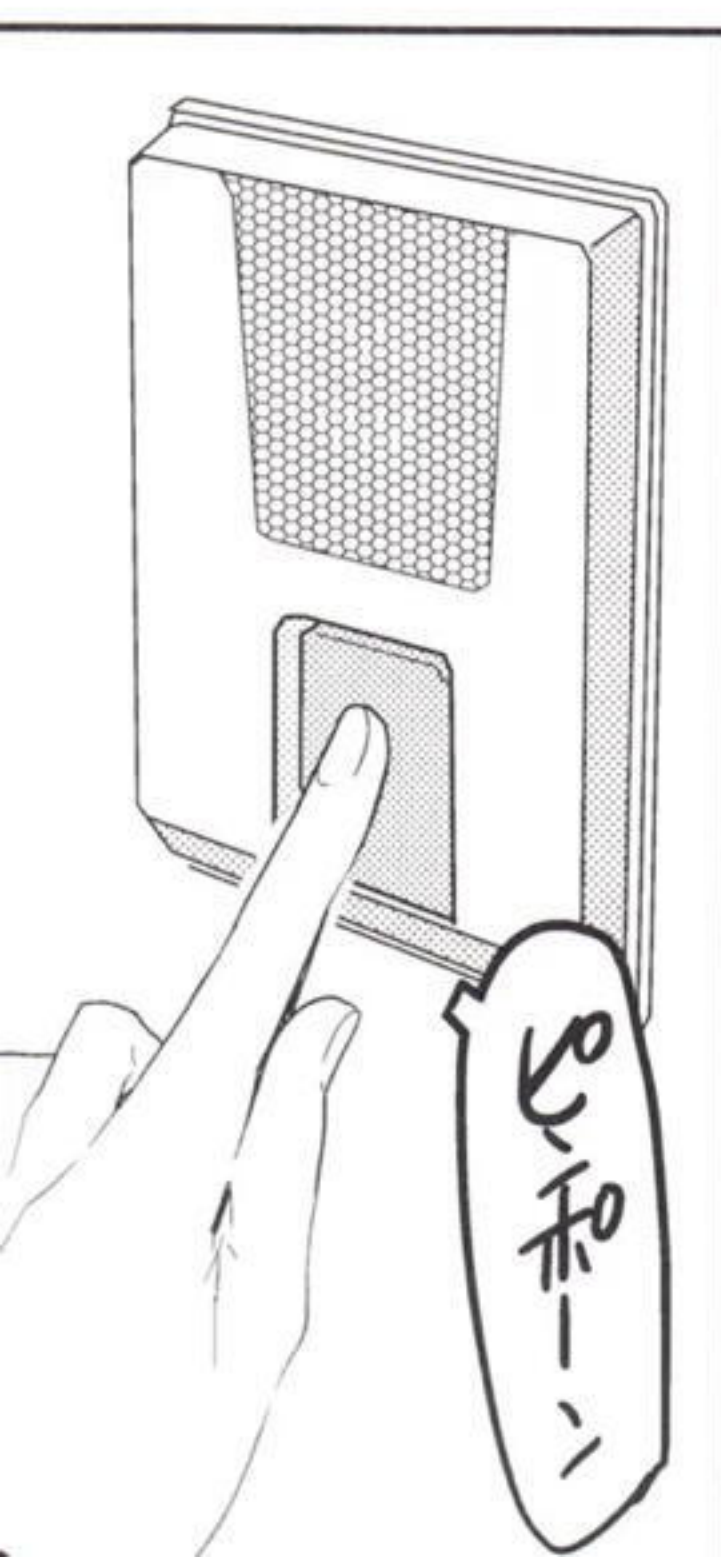
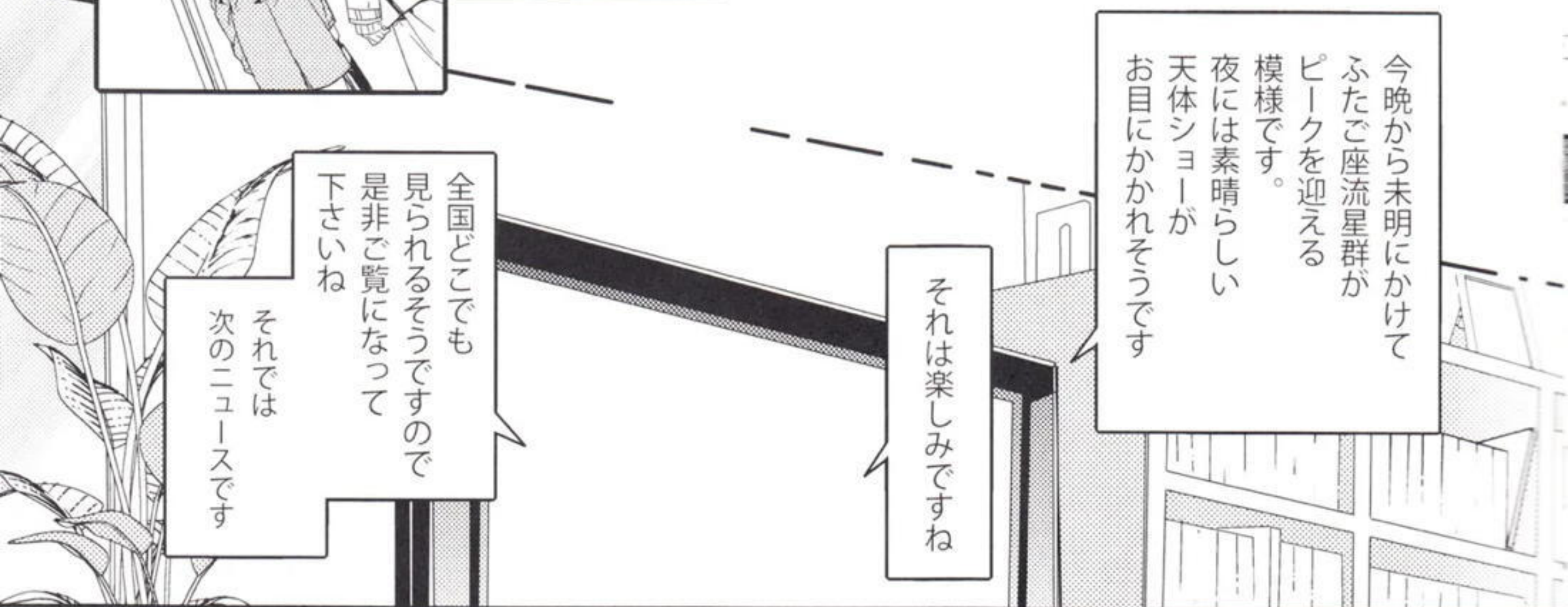
ただひとつの
ねがい



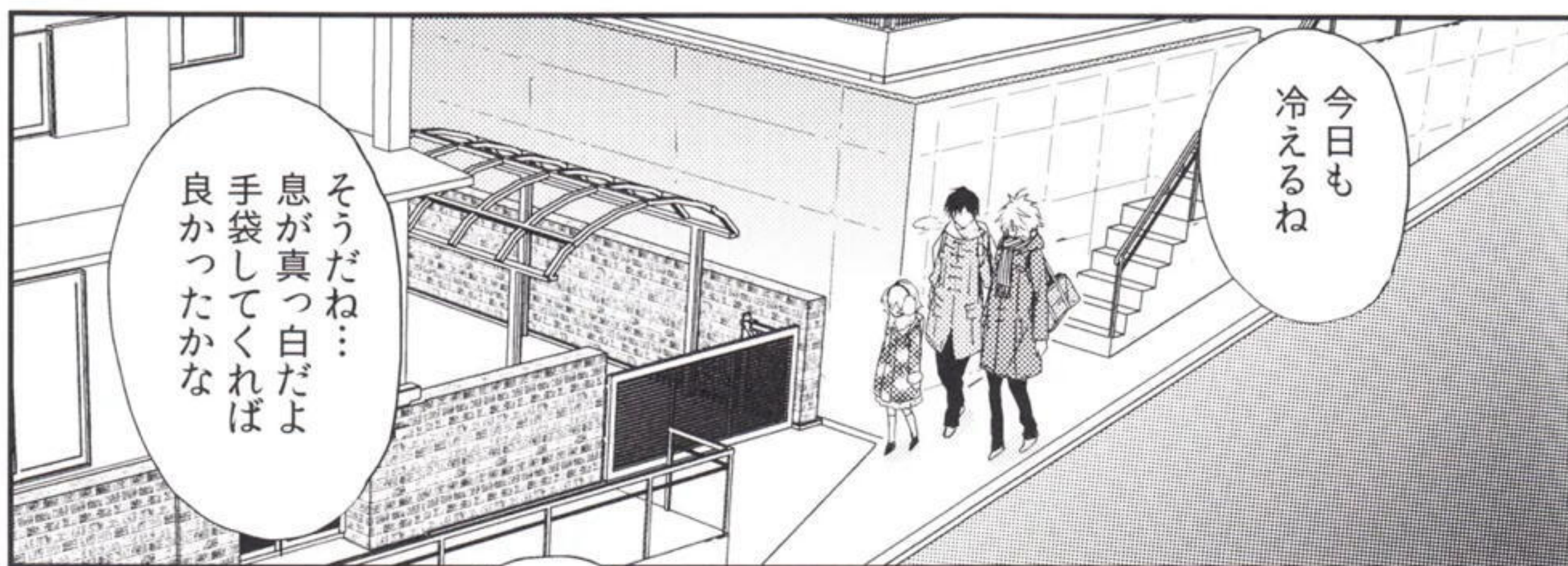














邪魔をしないで
くれないか？



私の兄さんに
触らないで



冬だから
乾燥してるのかな

なんか空気が
ピリピリ
してるような

鈍感心。

バチ

バチ



ふん！
バカシンジは
バカシンジでしょ

おはよう！
バカシンジ！

バカは余計、
おはよう
アスカ

はいはい。





ときどき考える…
君と僕とのこと

カヲル君？
どうしたの？

ううん
なんでもない…

かつて
僕の生きる理由は
彼を…

碓シンジ君を
幸せにすることだった



数多の試練を越えて

いくつもの世界で

僕たちは
廻りあった



時には敵として

時には味方として



共通するのは
彼を幸せにしたいという
僕の願い

その思いとは
裏腹に
傷つき
絶望に歪んでいく
彼の心



何度も何度も
繰り返しても

世界が再編
されても

それらは
逃れられぬ運命
不変だった

最期に世界は
何度も彼に
罰を与えるのだ

そして
それらの世界で
彼は確かに

不幸だったんだ

僕の死：



ガコン



新記録って…
いちいち断りにいく
僕の身にもなってよ

やっぱり
断っちゃうんだ
まだ会っても
いないのに…



またか…

カヲル君すごい！
これで10日連続！

新記録じゃない？



興味がないからね

好意を向けられたら
嬉しいものじゃないの
普通は…

せっかく皆
勇気出して
告白してるのに

会ったことも
無い女性に好意を
向けられても
嬉しさは感じないよ



そういうものかな

男だったら
女の子にモテるのって
嬉しいと思うけど

たとえ
知らない人でも
悪い気はしないし

沢山の人に
好かれてる
カヲル君を
羨ましいと思うし

僕は
良いことだと
思うよ

18



君は
こういうものを
貰うと嬉しいの？

僕は貰ったこと無い
から分からないよ
君みたいに
モテないし



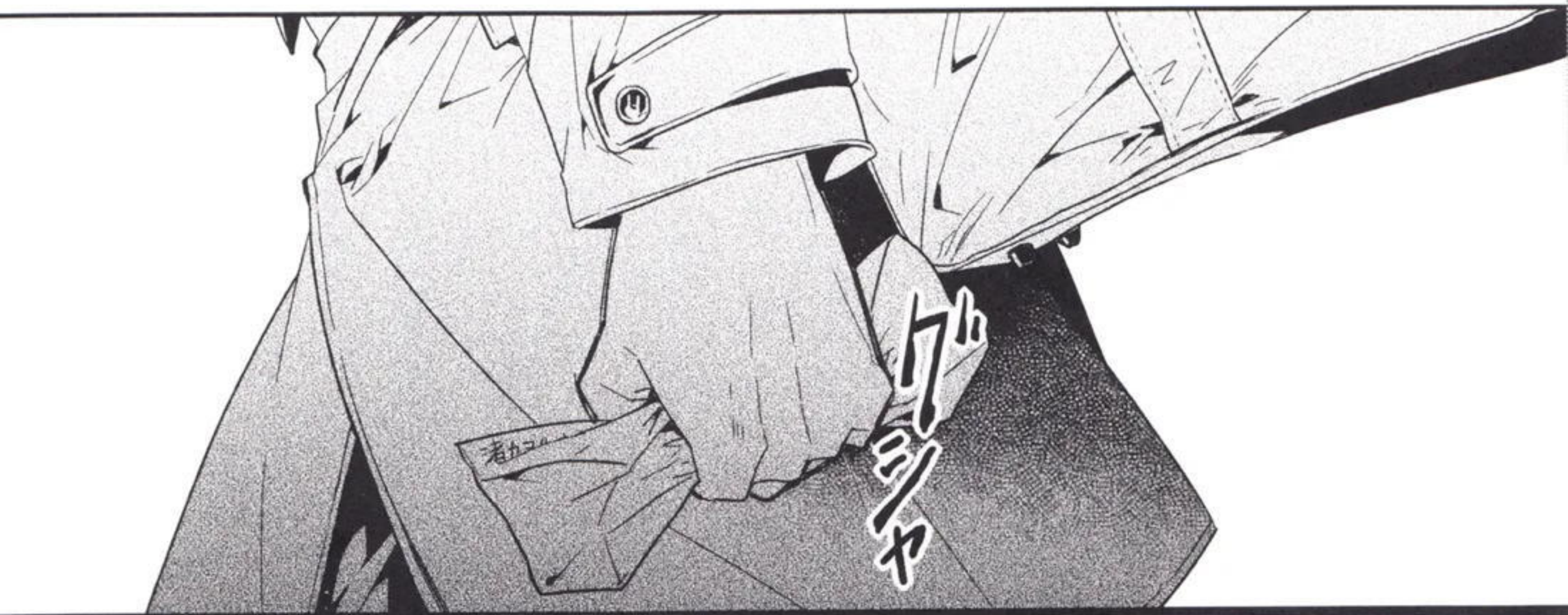
きゅっ
どうして…
急に胸が痛くなった…

でもそうだなあ
嬉しいのかな？
やっぱり

いつも思うけど
カヲル君って
かなりストイック
だよな

トウジとか
ケンスケなら
大はしやぎして
皆に言いふらし
そうだもん





君以外の人を幸せにしても
意味が無いのに…



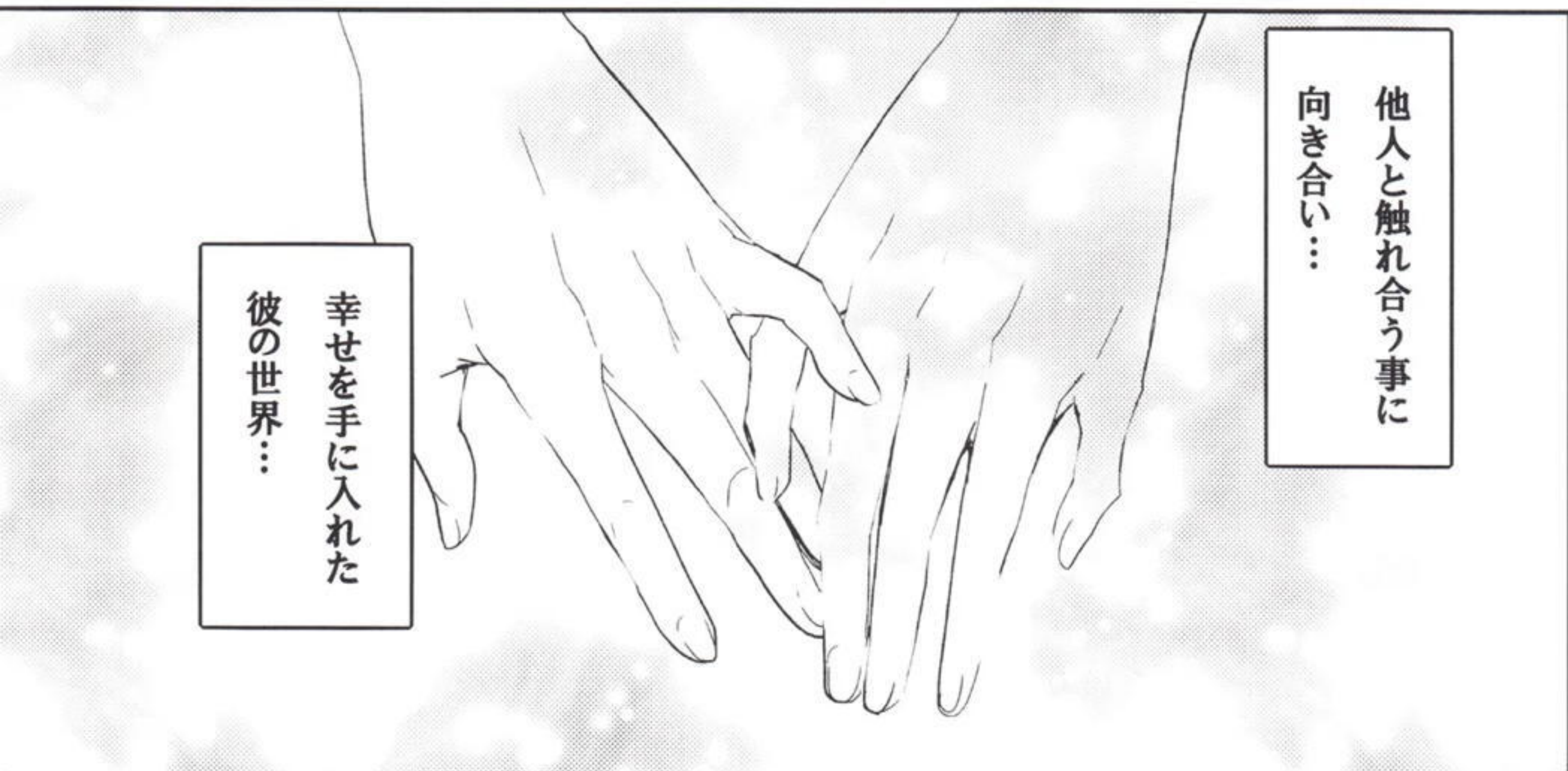
はい。

それじゃあ
次の英文の日本語訳を
… 鈴木



この世界は

不幸だった彼が
やっと手に入れた
幸せな世界…



他人と触れ合う事に
向き合い…

幸せを手に入れた
彼の世界…

四季は廻り

やがて花が咲く

海は深い青色を湛え

太陽の光を反射し
煌いている

エヴァもなければ

使徒もない



彼を縛り付ける鎖は
もう無い



次の授業
教室移動だね

音楽だったかな？

うん



繰り返しの先に
訪れた希望

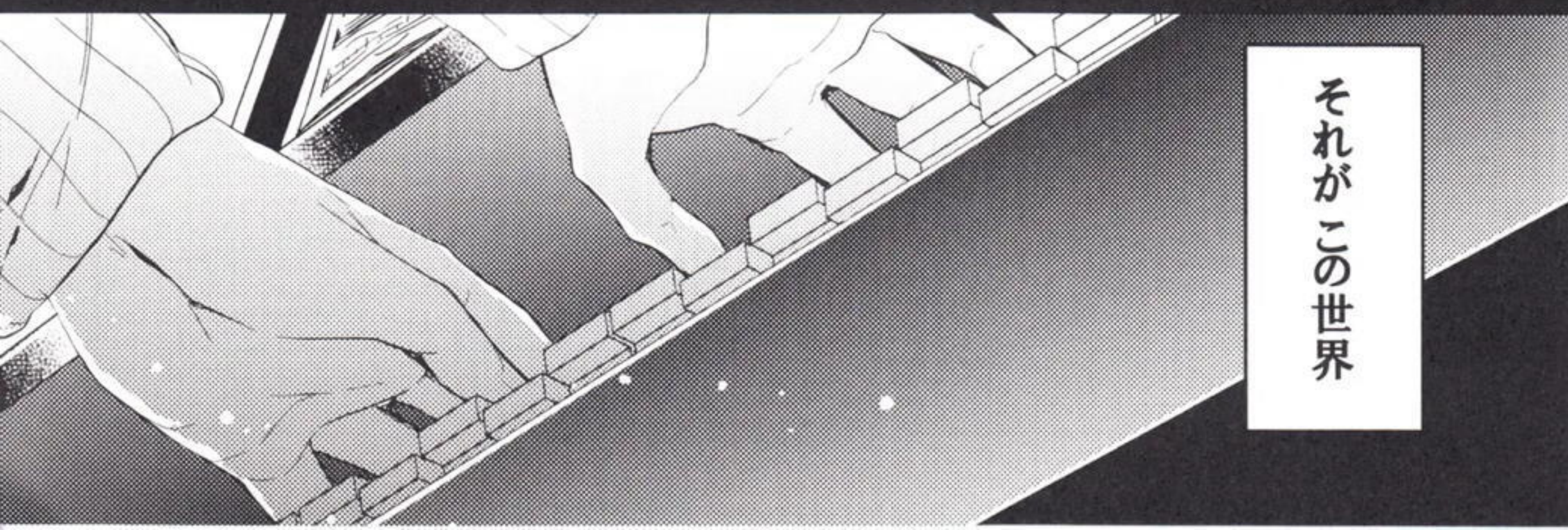
そろそろ
合唱コンクール
始まるね

もうそんな
季節なんだ

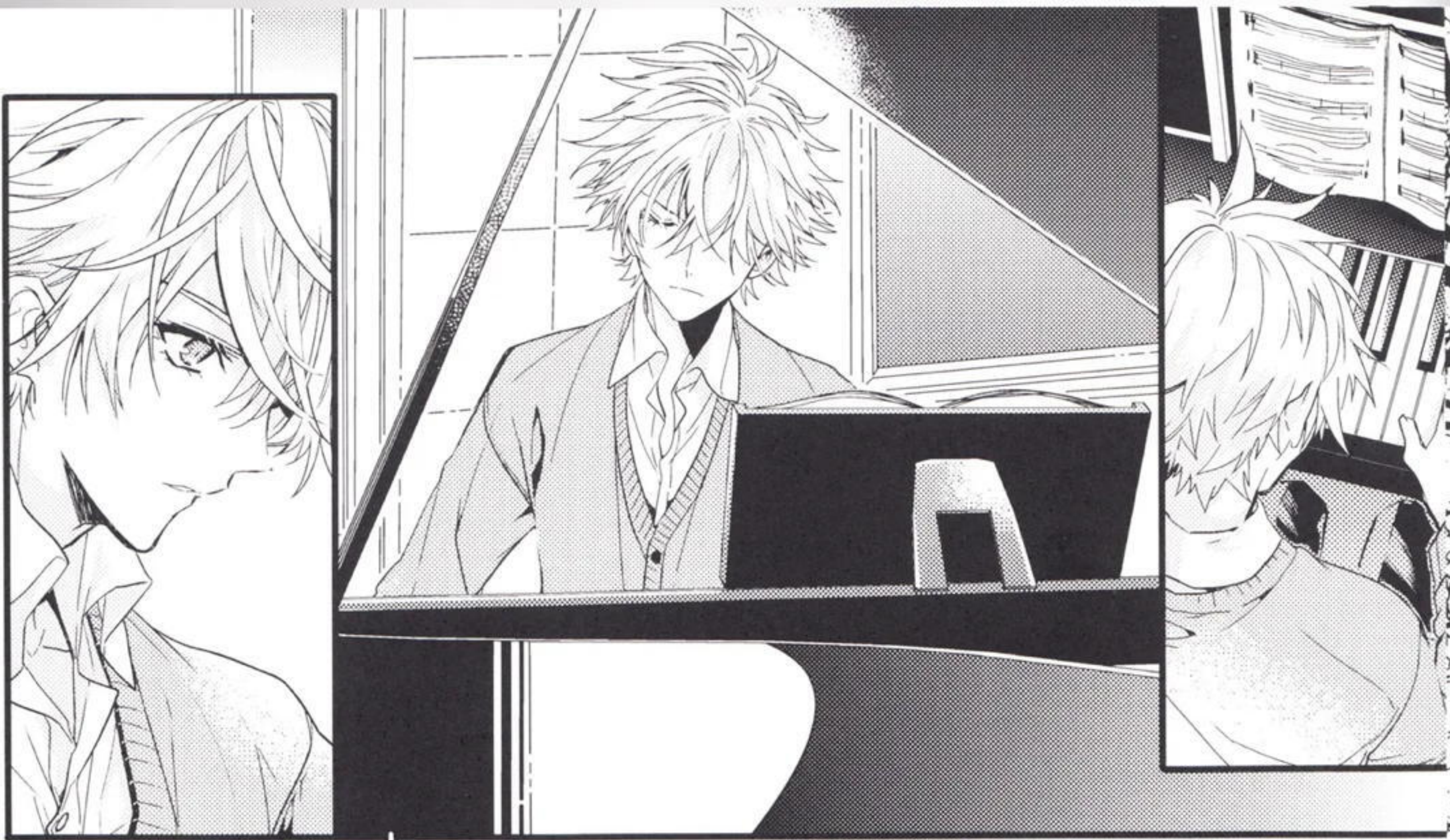
カヲル君は何
歌いたい？

この前
ピアノ伴奏
頼まれたから
僕はピアノかな

君の答え



それがこの世界







今よりも
良くしていこうという
思いさえあればね



そうかな？

そうだよ



練習しても
ダメだった所が
あれば

そこを
反復練習していけば
いつかは弾ける
ようになる

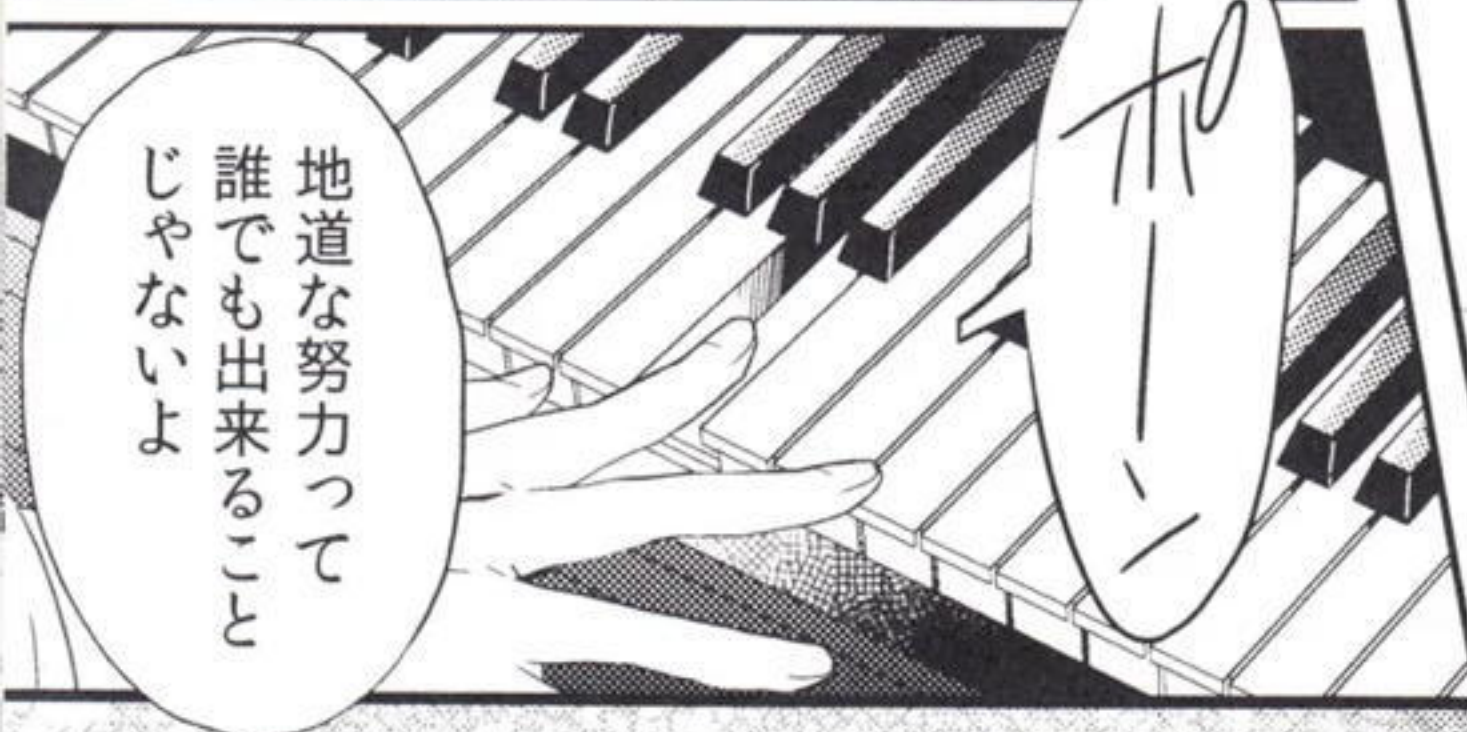
積み重ねていけば
君が言う
綺麗な演奏だって
弾けるように
なるかもしれない

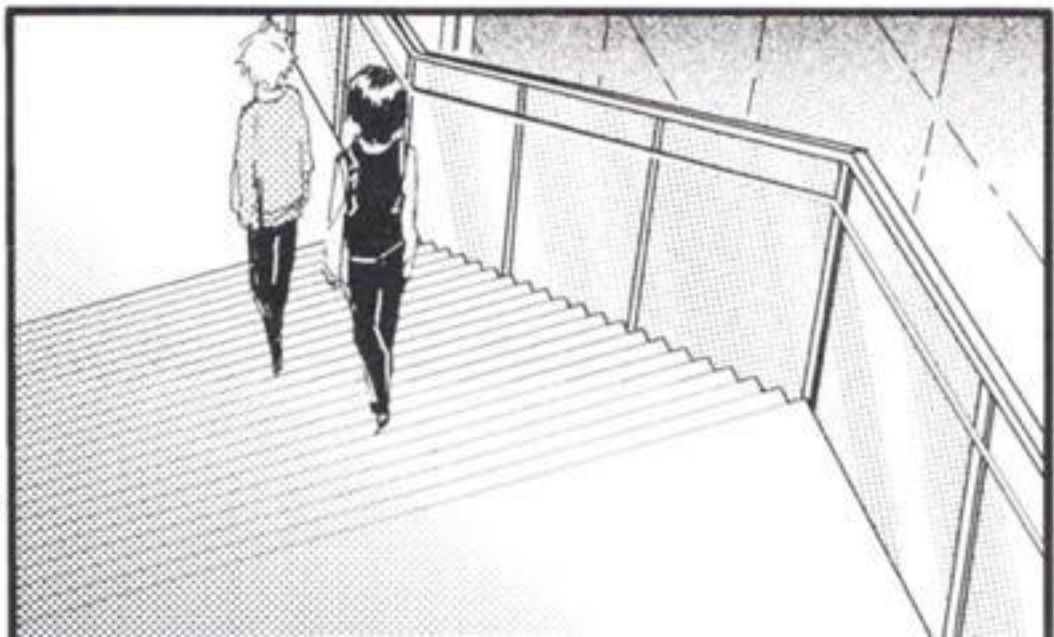
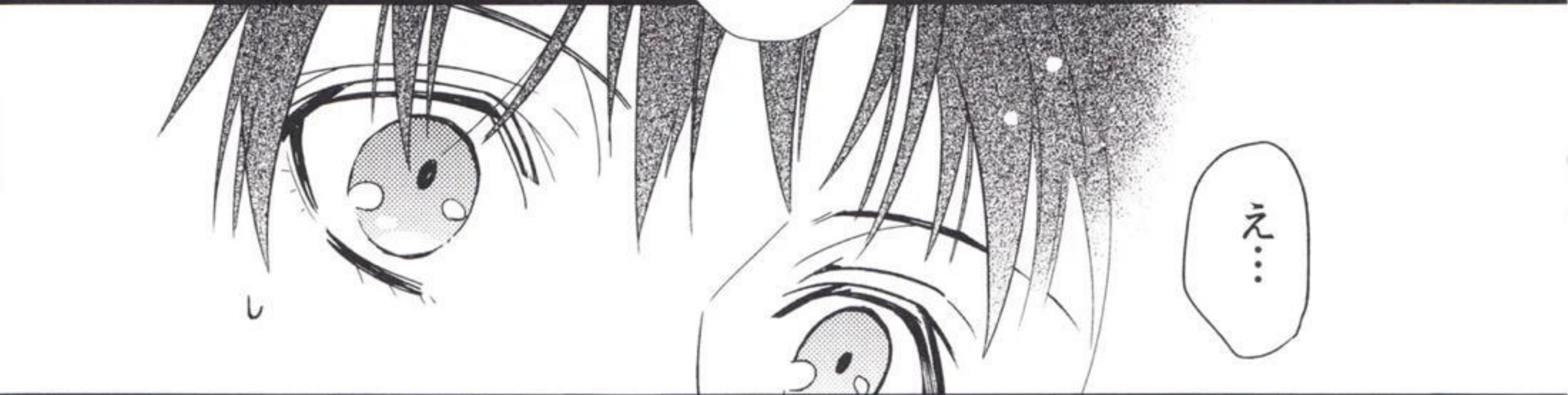
カヲル君も

いっぱい
練習したんだ



うん…





カヲル君
さっきの話だけど

さっき？

ピアノで
連弾したいって
さっき言ってたから

君が弾きたい曲が
あるなら
練習しようかなって

ああ…
その話

君と
繰り返し
ピアノの連弾…

君が繰り返し
した

負の連鎖

けれど…

ごめん
やっぱりいいよ

君はもう
繰り返し
必要なんて
ないんだ

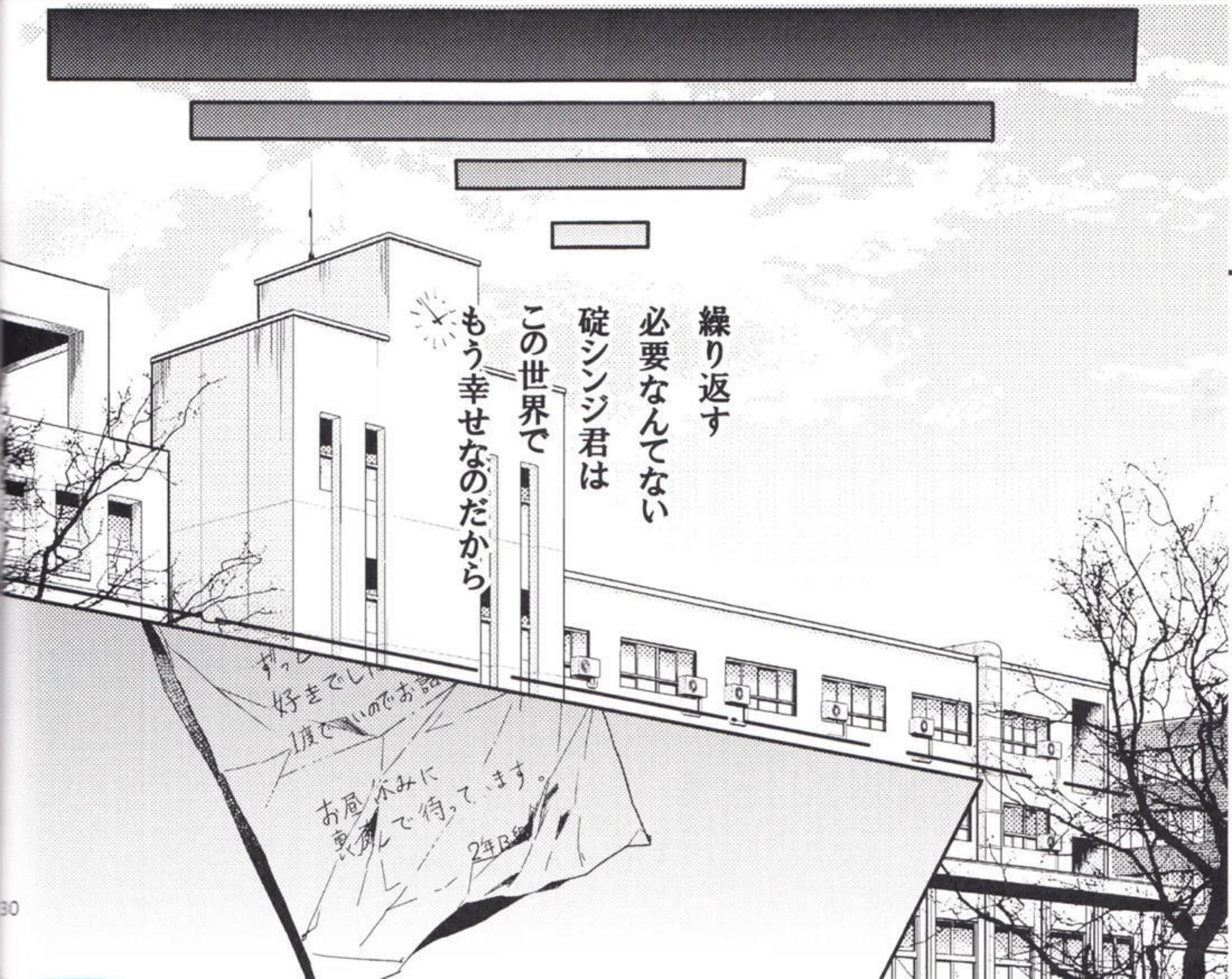


無理を
言ってしまったて
悪かったよ

気にしないで



カヲル君？



繰り返す

必要なんでない

碇シンジ君は

この世界で

もう幸せなのだから

お屋敷に
戻して待っています。
2年B組

そして…
この世界で
僕は

リリン
人間になった



「君を幸せにする」

数多の世界で
僕がたった一つだけ
願ったこと
僕の存在理由



それが無い世界

首輪が無いね

一人なのかい？

よしよし。

ニャー



君は僕と
同じだね



ニャー



ニャー



シンジ君



どうして僕は
ここにいますの？

この世界に
僕は必要？



好きです…！



ごめんね…
僕には君の好意を
受け止めることは
できないよ

そっか…



こちらこそ
ごめんなさい
本当は分かったたの

わかってた？



断られるのは
わかってたの…

ただどうしても
自分の気持ちを
伝えたかっただけで

…そう



渚君は碇君と
一緒に居るときが

一番楽しそう
なもの…



渚の元気が無い？

うん…
そうなんだ
たまにボーっと考え事
してるのは
よくあるんだけど

今日は朝から
なんかおかしくて
どうしたのかなって

碇が分からないことが
僕らに分かるわけ
ないだろ
渚と一番仲いいのは
碇なんだから

たしかに…

せやなく
うっかり
賞味期限切れの
牛乳飲んでしもた
とか？

おなが!!

そんな
トウジじゃ
ないんだから

ない!!

なんやと？

やつぱり
本人に直接
聞いてみるのが
一番いいんじゃないかな

僕なんか
話してくれるかな

そもそも僕の
勘違いかも
しれないし…



逆や

渚はたぶん
センセにしか
話さへんか
思うで



おかえり
カヲル君

ただいま

お昼：
先に食べて
しまっても
良かったのに：
待ちませんでした
よかったね

一人で食べても
つまらないでしょ

鈴原君たちが
いるじゃない

だって…

カヲル君が
一人でご飯食べる
ことになったら
いやだもん



なんてね…
違うんだ
一緒に食べたいから
待ってたんだよ

僕のために…

カヲル君？

あ！えっと
あの…その…！

あわ
あわ



なんだか…
変な気持ち

もぞっ

よかった…
元気みたいで



カヲル君たまに
難しい顔してるし

胸の奥が
ジワジワと
温まっていくなような…

今朝からずっと
元気ないみたい
だったから

大したことでは
無いんだ…

でも
君に心配させて
しまったようだね
ごめん…

謝らないで

何か悩んでる
ことがあって

僕に話しても
構わないようなら
話してほしいなって
思っただけだから

僕は力も弱いし

勉強だって
カヲル君ほど
じゃないし

自慢できることも
ないけど

カヲル君の力に
なれたら
嬉しいなって…

シンジ君…

元気づけて
あげられたらって
そう思って

何か
僕にもできる事
ないかな

そうだ！

今日の朝テレビで
言ってたんだよ
ふたご座流星群！

そういえば…
そんなニュースを
観たような…

それが
どうかしたのかい？



よかつたら
今夜一緒に
見に行かない？



星を？

カヲル君と星を
見たら楽しい
かなって…
だめ？



「ねえ
もう少しここに居ない？」

「このまま星を見ようよ」



うん

僕も君と
星を見たいな…





手繋いで
歩こうよ

その方が
暖かいんですよ



うん

わあ！
街中よりもっと
星が見える！
すごい！

君が
喜んでくれて
嬉しいよ



ふたご座流星群って
どのへんかな？

今の時間だと
ちょうど
オリオン座の
近くかな

あんまり
乗れなくて
危ないよ



あ！



今流れたよ

カヲル君見た？

あっちの方

ごめん
見逃して
しまったようだ

またすぐ
流れるよ



シンジ君は

星が
好きなのかい？



好きっていうか



星を見てると
小さいときから
なんだかすごく
安らぐんだ…

何万年も昔から
ずっとそこに在って

変わらず見守って
くれてるみたいで

落ち着くんだと…
思う

不思議だけど…
どこか懐かしい
って感じがする





幸せって…

難しい
質問だね

そうかな？



幸せって
人それぞれ
違うじゃない

何をしても
自分はこの世で一番
不幸だって思う人も
いれば

当たり前なのが
幸せだって
思う人もいるし



人の幸せって
複雑なんだね



シンジ君

君は今 幸せ？



でも
僕としては

いやな事もあるし
つらい事もあるけど

楽しいことも
いっぱいある

だから僕は
幸せだと思う

君が幸せなら…
僕も嬉しいよ

気付いてしまった
ドロドロとした
生ぬるい感情に



きっと僕は
前みたいに

世界で一番
不幸な彼に
縋りついて欲しかったんだ

「僕を幸せにできるのは
君だけだよ……」

縋って
泣いて
僕だけをその瞳に映して
僕だけを感じて



けれど……

こんなものは
彼の本当の幸せじゃない

僕のエゴは彼を
傷つけるだけだった



カヲル君は
幸せ？



幸せな
シンジ君に僕はいらない

カヲル君は？



僕？

うん…
君自身は
今幸せなのかな

よく…
わからない
なぜ
そんなことを



君はいつも
自分よりも
僕の事を
気にかけてて

自分の事は
二の次に
してるでしょう

それは…



「僕は君に会うために
生まれてきたんだね」

だって！
僕は……！

あのね……



カヲル君は
君自身の幸せを
願ってもいいんだよ



幸せ？

僕の……

そう…

カヲル君の幸せ

僕の幸せは
自分だけが良ければ
幸せじゃ
だめなんだ

欲張りかも
しれないけど
僕は周りの人たち
皆に 幸せに生きて
ほしいんだ

それはもちろん
友達の君もだよ

僕ね…
ここじゃない
どこかの世界で

笑わないで
聞いてくれる？

僕に関わる人に
キズつけたり
キズつけられたり

しまいには
取り返しのつかない
ことをして

泣いてばかりだった
んじゃないかって
思う時があってね

そんな記憶
どこにも無いのに
心の奥底で
誰かが
叫んでるんだ…

「今度こそ」

「カヲル君を
幸せにしてあげて」
…って



僕はもう
大丈夫だから
君は君のために
生きてって

そんなこと
言つて…

シンジ君は
どうして
そんなことを
言うの

やっぱり
君はもう
僕を
いらないんだ

自分より
君を優先する僕は
迷惑なの？

僕は君が
幸せならいいんだ

僕の幸せなんて
どうだっていい

カラ…ル…く…

君の為なら
僕は死んだって
かまわないのに！

胸の痛みが
止まらない

ぞわっ

あ…

カヲル君……？

君はまた……

そうやって……っ！

僕の為に
自分を犠牲に……

ぽん





ぶっっ...

ごめん

でも

君の人生なんだから
もっと自分のことを
考えて欲しいんだ

自分は
どうだっていいとか
死んだって
かまわないとか

バカなこと言わないで!



君はそれでも
いいって言うの!?



死んじゃったら
もう会えなく
なっちゃうんだよ!



やめてよ...
もう...

さつきの
冗談には
聞こえないよ

涙...

君は…

何を願うの？

そうか…

「君を幸せにする」

それが僕の生きる理由だった

それが無い世界で

君は僕に
自分の幸福を
見つけてほしいと
願って

僕をこの世界に
残してくれたのか…

誰よりも
繊細で
優しくて…
清らかな
君の願い…

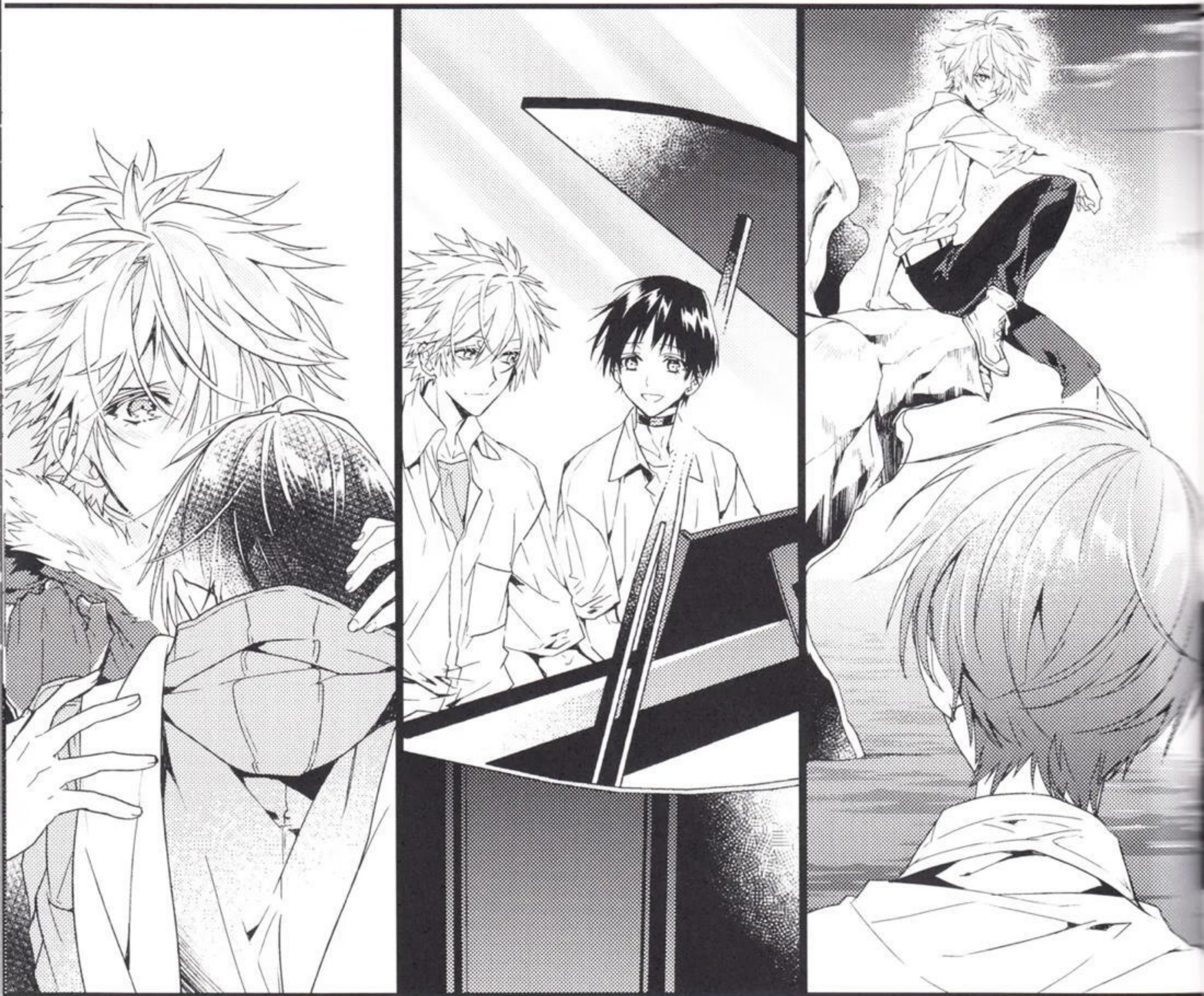
僕は

今になって

やっと気づくなんて…

いつも君のことしか
考えていないから

僕の幸せ…
それは



君の側にいること

何度繰り返しても
叶う事の無かった
僕の幸せ

使徒であったときには
気付かなかった
僕の願い

君を泣かせて
ばかりのこんな
僕だけど…

願ってもいいのかな

君の幸せではない

僕自身の
幸せを…



僕は君と
一緒に居たい

君と一緒に
笑っていたい

シンジ君と
ずっと一緒に
いたい



うん



それが
君の幸せ？



叶うよ
きつと…

僕はカヲル君の事を
一人ぼっちになんか
させないから
僕なんかでいいなら
一緒にいるよ

ありがとう
カヲル君

シンジ君
じゃなきゃ
駄目だ

君以外なんて
ありえない

君が側に居て
はじめて
僕の世界は
動きだすから…



か、
からかわないでよ！



なんか
恥ずかしくなって
きちやっとな…

顔が赤いね…
かわいい

ごめん

ありがとう
シンジ君

この夜……

僕は人間になって
初めて涙を流した

嬉しいとき……

リリンの心臓が
こんなにも切なく
痛むのを
初めて知った

君が教えてくれた
感情……

君がくれた
僕の世界

「お久しぶり」



ありがとう



春になったら
一緒に桜を
見に行こうよ

うん

約束！





終

鉄錆Tetsu-Sabi
文月路亜

HP:<http://t-s.fem.jp/>

MAIL:tetsu-sabi-hr@mail.goo.ne.jp

PIXIV ID:468676

TWITTER ID:roahuduki

印刷：くりにえ社

発行：2013/1/6

禁ネットオークション・禁無断転載

EVANGELION Fan Book
KAWORU×SHINJI
TETSU-SABI

2013/01